資料－1

《情報提供》

○平成３０年７月豪雨（西日本豪雨）災害の概要
○平成３０年８月６日出水（前線）の概要（最上川）

平成30年9月10日
国土交通省　東北地方整備局

平成３０年７月豪雨（西日本豪雨）
災害の概要

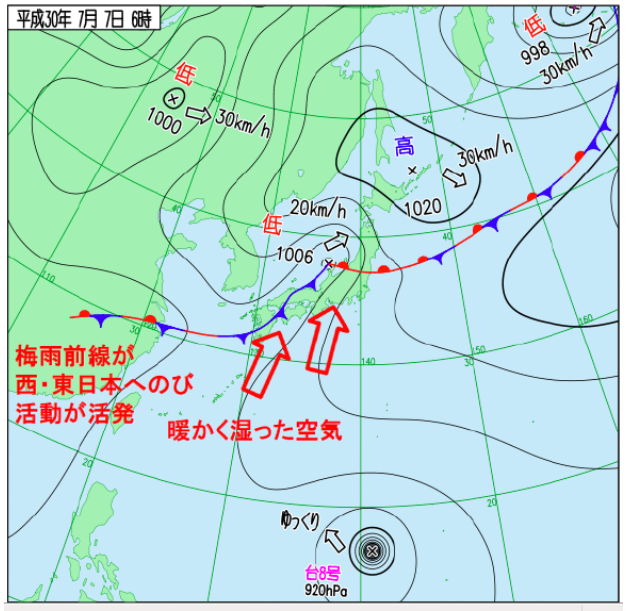
平成30年７月豪雨による降雨（概要）

○ ６月28日以降、梅雨前線が日本付近に停滞し、また29日には台風第７号が南海上に発生・北上して日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、台風第７号や梅雨前線の影響によって大雨となりやすい状況が続いた。

○ このため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、６月28日～７月８日までの総降水量が四国地方で1,800mm、東海地方で1,200mm、九州北部地方で900mm、近畿地方で600mm、中国地方で500mmを超えるところがあるなど、７月の月降水量が平年値の４倍となる大雨となったところがあった。

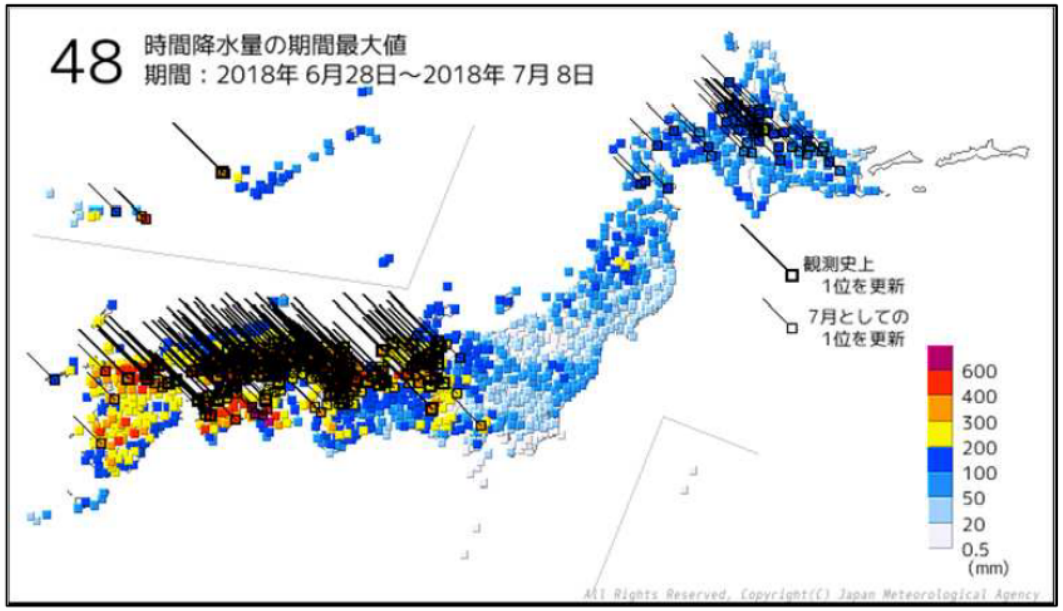
○ 特に長時間の降水量について多くの観測地点で観測史上１位を更新し、24時間降水量は76地点、48時間降水量は124地点、72時間降水量は122地点で観測史上1位を更新した。　※全国の気象観測所は約1,300箇所

梅雨前線が停滞、台風から湿った空気が供給



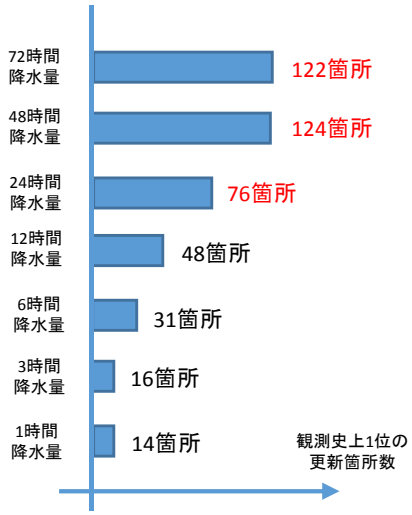
実況天気図（2018年7月7日6時00分時点）

広い範囲で記録的な大雨



48時間降水量の期間最大値（期間2018年6月28日～7月8日）

長期間の大雨



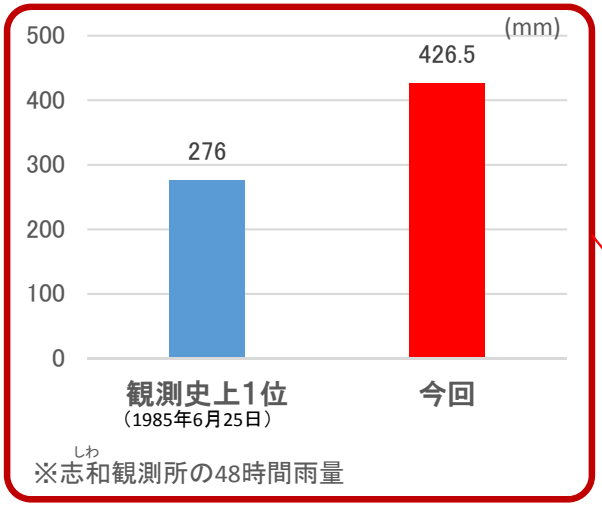
観測史上1位の更新箇所数
（時間降水量別）

平成30年７月豪雨による降雨（代表箇所）

速報値
平成30年7月9日現在

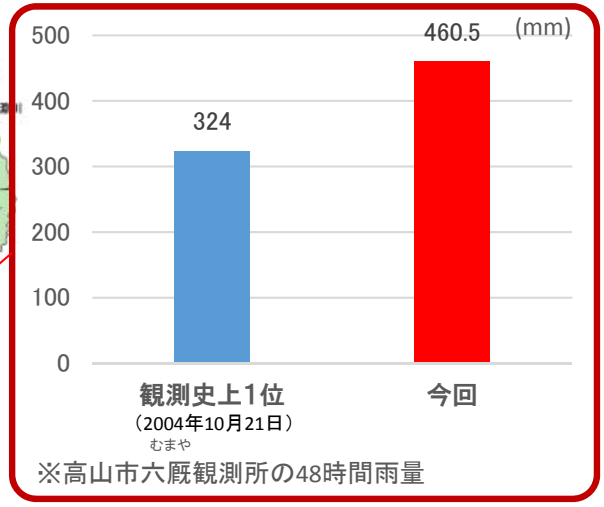
○肱川（ひじかわ）では、河川整備基本方針の計画目標に相当する雨量を観測
○高梁川（たかはしがわ）では、河川整備基本方針の計画目標を大きく上回る雨量を観測
○広島県東広島市、岐阜県高山市の観測所では、これまでの観測史上１位の約１．５倍の降水量を記録

東広島市（広島県）

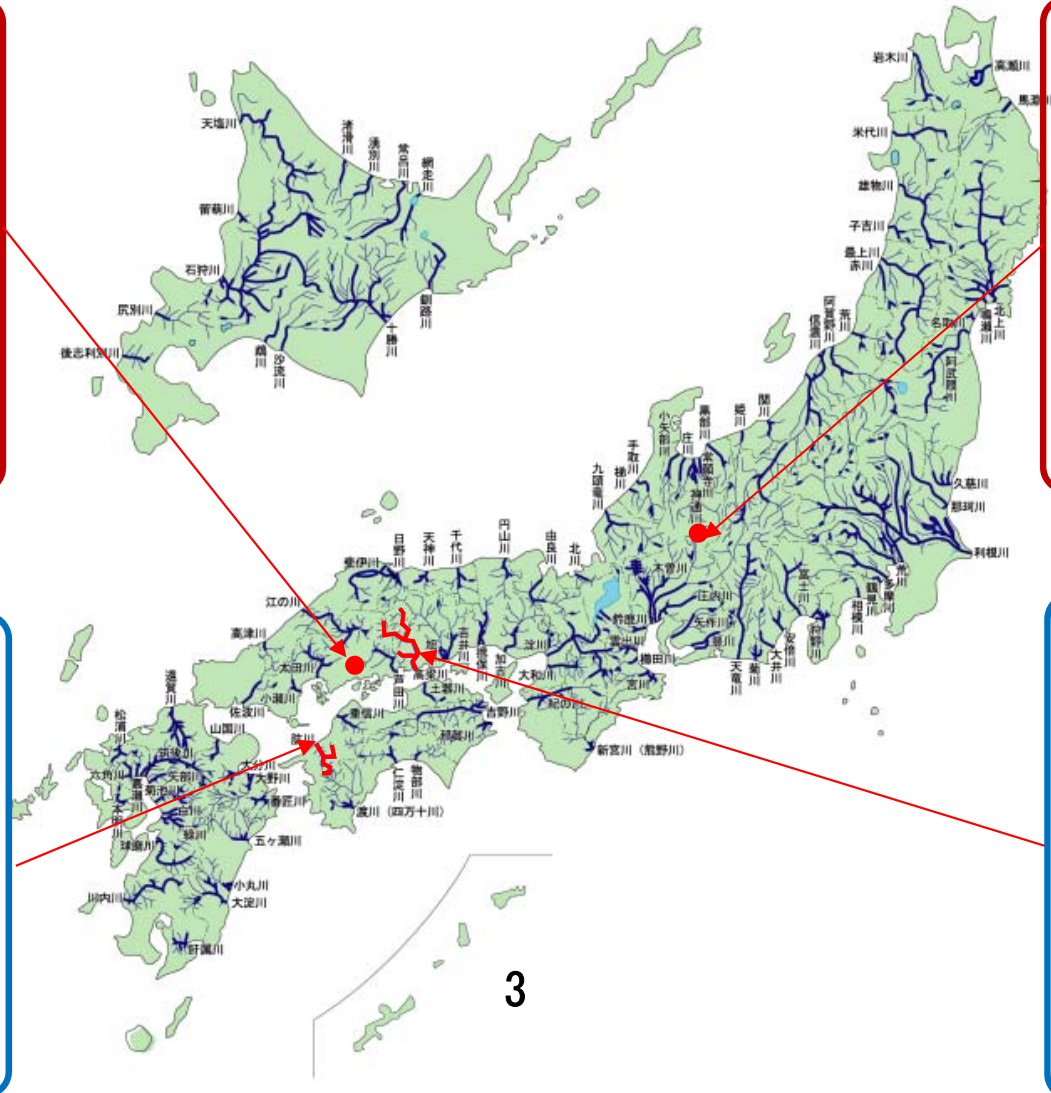


※志和（しわ）観測所の48時間雨量

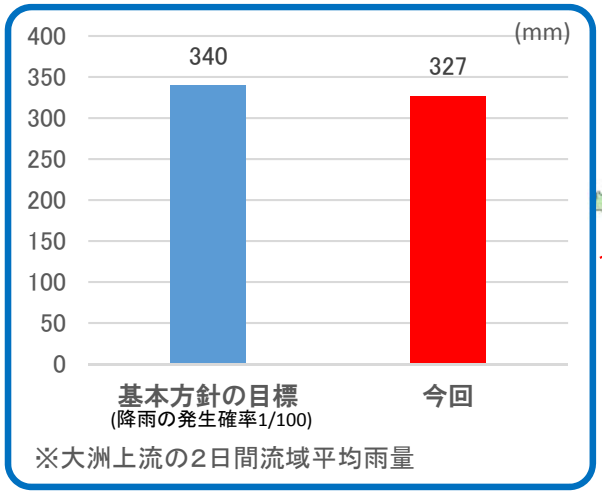
高山市（岐阜県）



※高山市六厩（むまや）観測所の48時間雨量

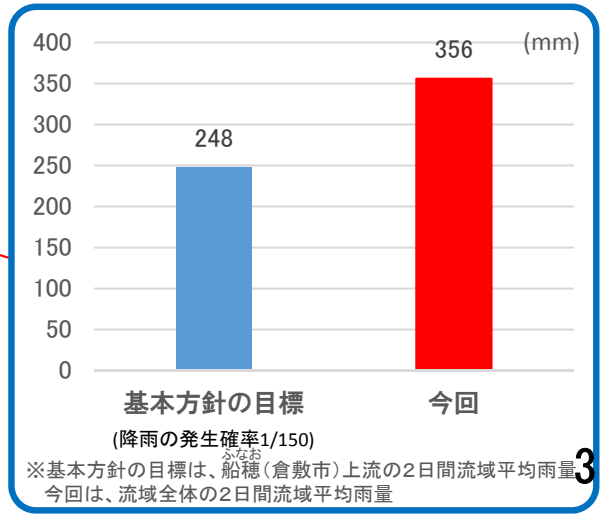


肱川（愛媛県）



※大洲上流の２日間流域平均雨量

高梁川（岡山県）



※基本方針の目標は、船穂（ふなお）（倉敷市）上流の２日間流域平均雨量
今回は、流域全体の２日間流域平均雨量

平成30年7月豪雨及び台風第12号による被害状況

＜人的被害＞
- 死者 221 名（岡山県 61 名、広島県 108 名、愛媛県 27 名ほか）
- 行方不明者 9 名（岡山県 3 名、広島県 6 名）

＜住家被害＞
- 全壊 6,296 棟（岡山県 4,469 棟、広島県 1,074 棟、愛媛県 599 棟ほか）
- 半壊 10,508 棟（岡山県 3,331 棟、広島県 3,172 棟、愛媛県 2,985 棟ほか）等

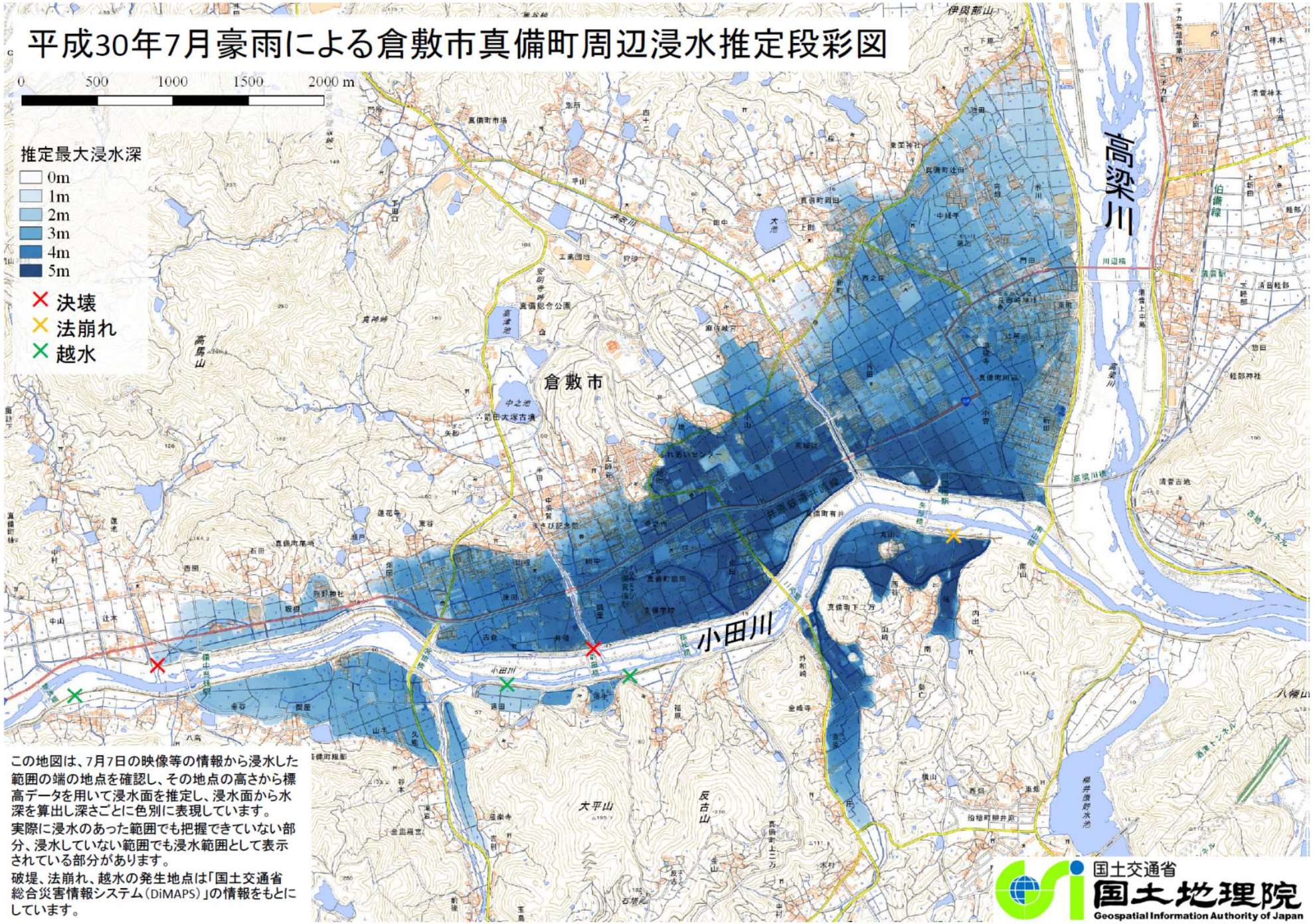
消防庁集計(平成30年9月3日現在）

高梁川水系小田川の破堤



高梁川水系高梁川：岡山県倉敷市真備町（平成30年7月8日（日）：国土交通省撮影）

高梁川水系小田川の破堤



この地図は、7月7日の映像等の情報から浸水した範囲の端の地点を確認し、その地点の高さから標高データを用いて浸水面を推定し、浸水面から水深を算出し深さごとに色別に表現しています。
実際に浸水のあった範囲でも把握できていない部分、浸水していない範囲でも浸水範囲として表示されている部分があります。
破堤、法崩れ、越水の発生地点は「国土交通省総合災害情報システム（DiMAPS）」の情報をもとにしています。

国土交通省 国土地理院 Geospatial Information Authority of Japan

高梁川水系小田川の破堤

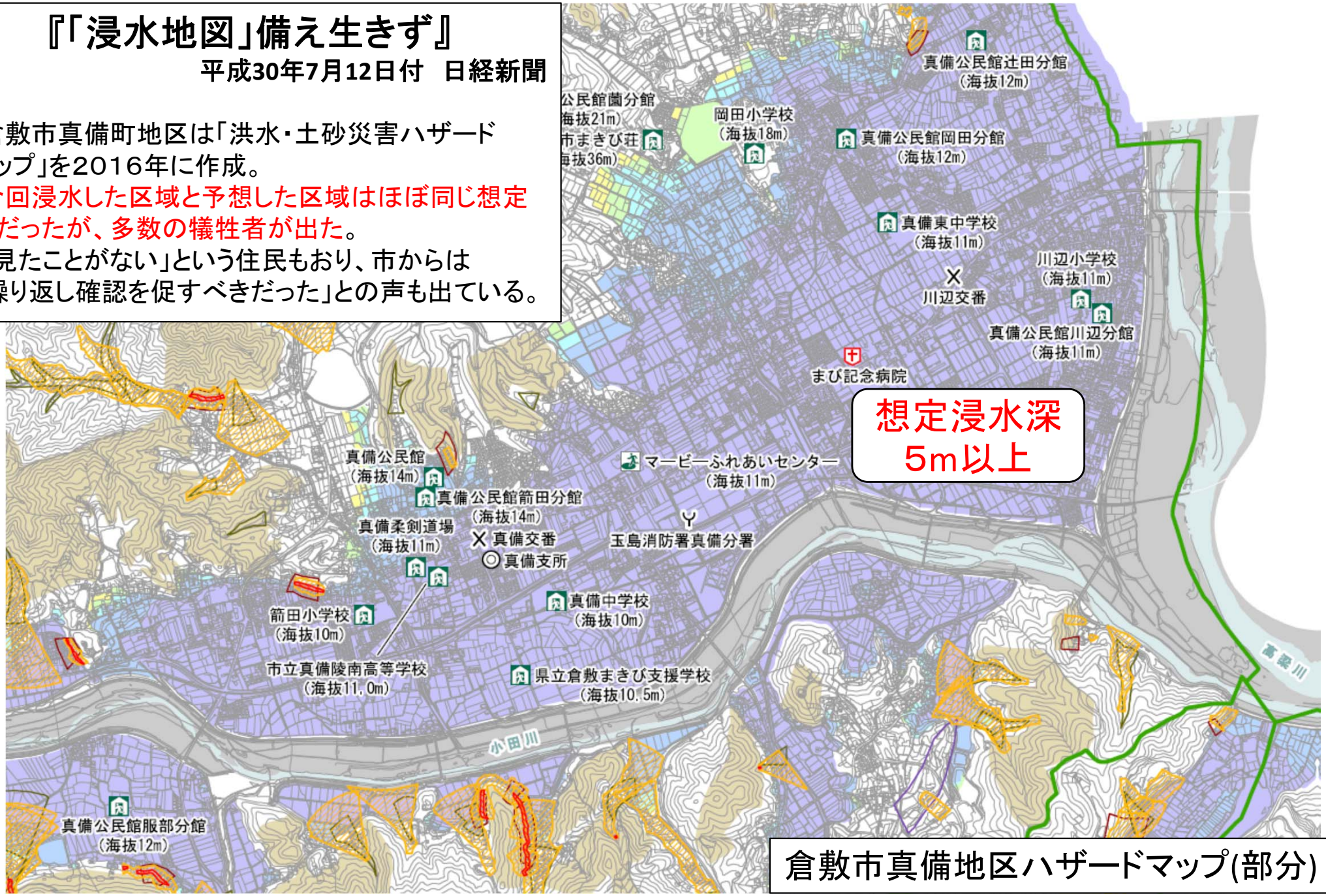
『「浸水地図」備え生きず』

平成30年7月12日付　日経新聞

○倉敷市真備町地区は「洪水・土砂災害ハザードマップ」を2016年に作成。

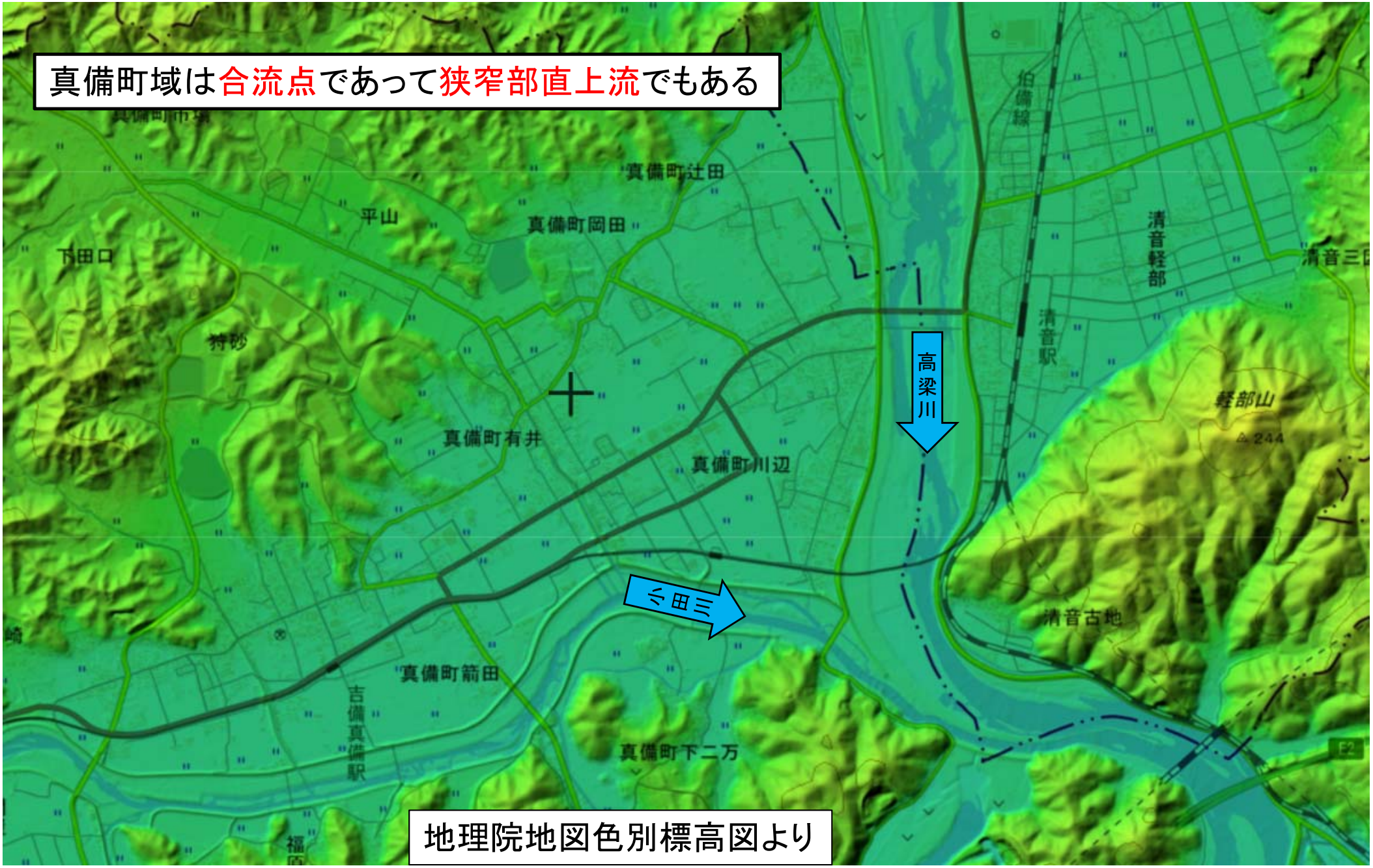
○今回浸水した区域と予想した区域はほぼ同じ想定内だったが、多数の犠牲者が出た。

○「見たことがない」という住民もおり、市からは「繰り返し確認を促すべきだった」との声も出ている。



倉敷市真備地区ハザードマップ(部分)

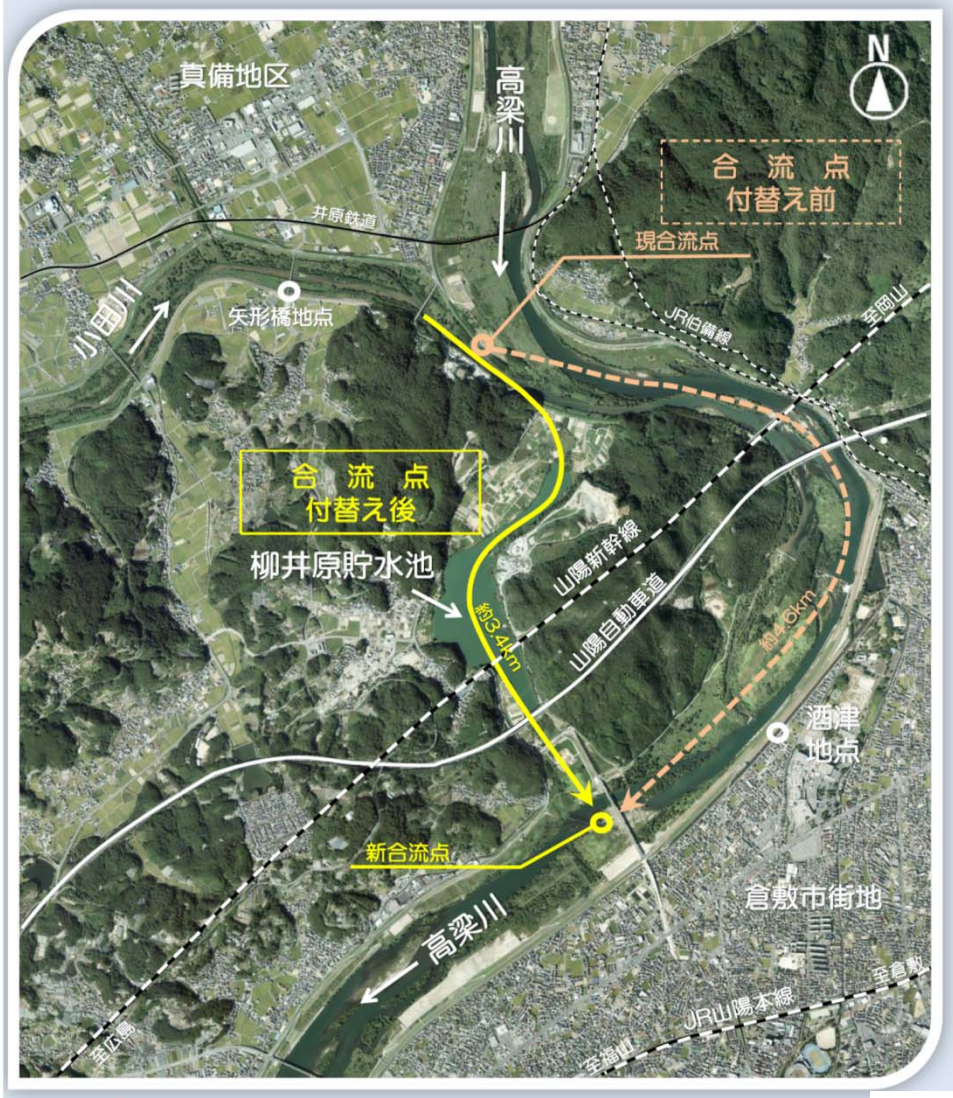
高梁川水系小田川の破堤



小田川合流点付替え事業

高梁川・小田川の沿川を洪水から守る

「小田川合流点付替え事業」



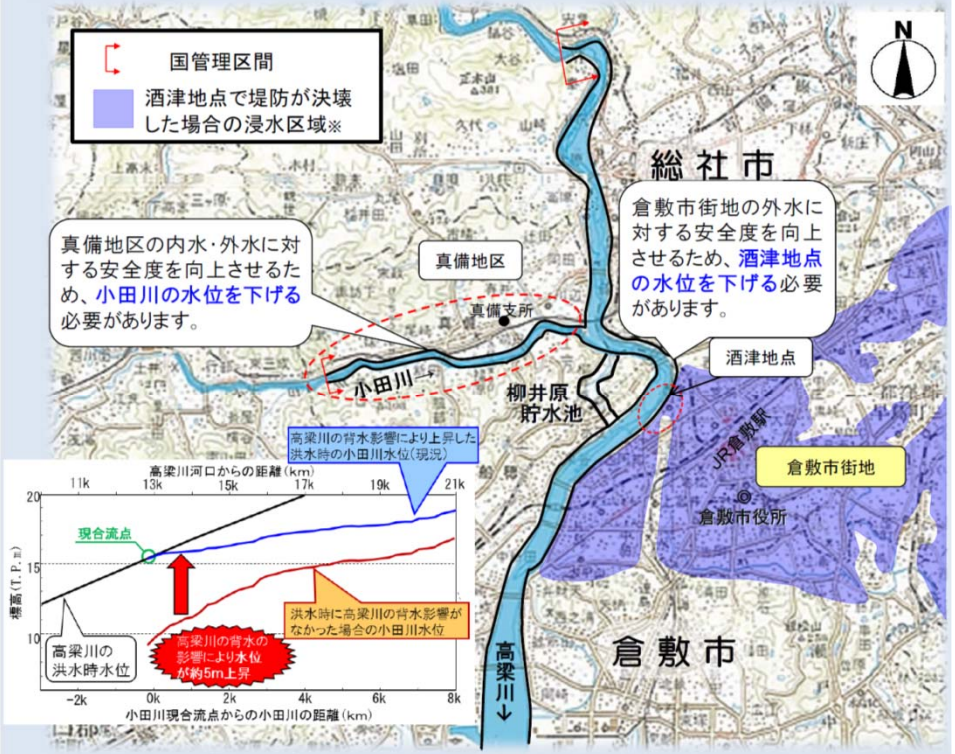
国土交通省　中国地方整備局
岡山河川事務所

岡山河川事務所
パンフレットより

◎小田川合流点付替え事業の必要性

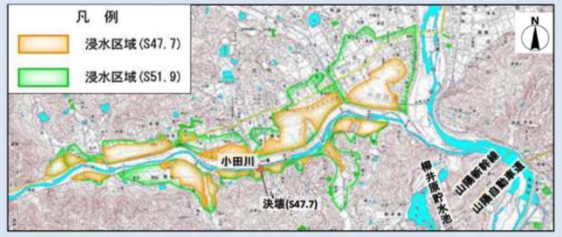
現在の小田川は、洪水時に高梁川の水が小田川に回り込み、小田川の流れが阻害され、水位が高くなる特性（背水影響）を持っています。合流点付近に位置する真備地区では、洪水時に支川から河川への排水ができず、過去何度も内水被害を受けてきました。そのため、小田川の水位を下げ、内水被害を防ぐ必要があります。

また、流域で最も人口・資産が集積する倉敷市街地が背後に存在する酒津地先の安全度を向上させるため、酒津地点の水位を下げる必要があります。



※現時点において、計画規模の洪水が発生し、酒津地点の堤防が決壊した場合に想定される浸水区域を記載しています。
詳しくは「国土交通省地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）http://suiboumap.gsi.go.jp/faq.html」を参照ください





小田川の内水氾濫状況　（倉敷市真備地区）

2

野村ダムにおける異常洪水時防災操作

『ダム放流急増　伝わったか』

平成30年7月11日付　朝日新聞

〇野村ダム放流増加までの流れ

7/7未明　国土交通省野村ダム管理所から西予市にダムの放流量を増やす見込みだと連絡

5:10　市が防災無線を通じて避難指示（緊急）を周知
5時30分と6時頃にも

5:10　消防団が各戸巡回を開始

5:15　ダム管理署が放流の合図のサイレンを鳴らし始める

6:20　放流量増大

7時前頃？野村町が浸水、5名死亡

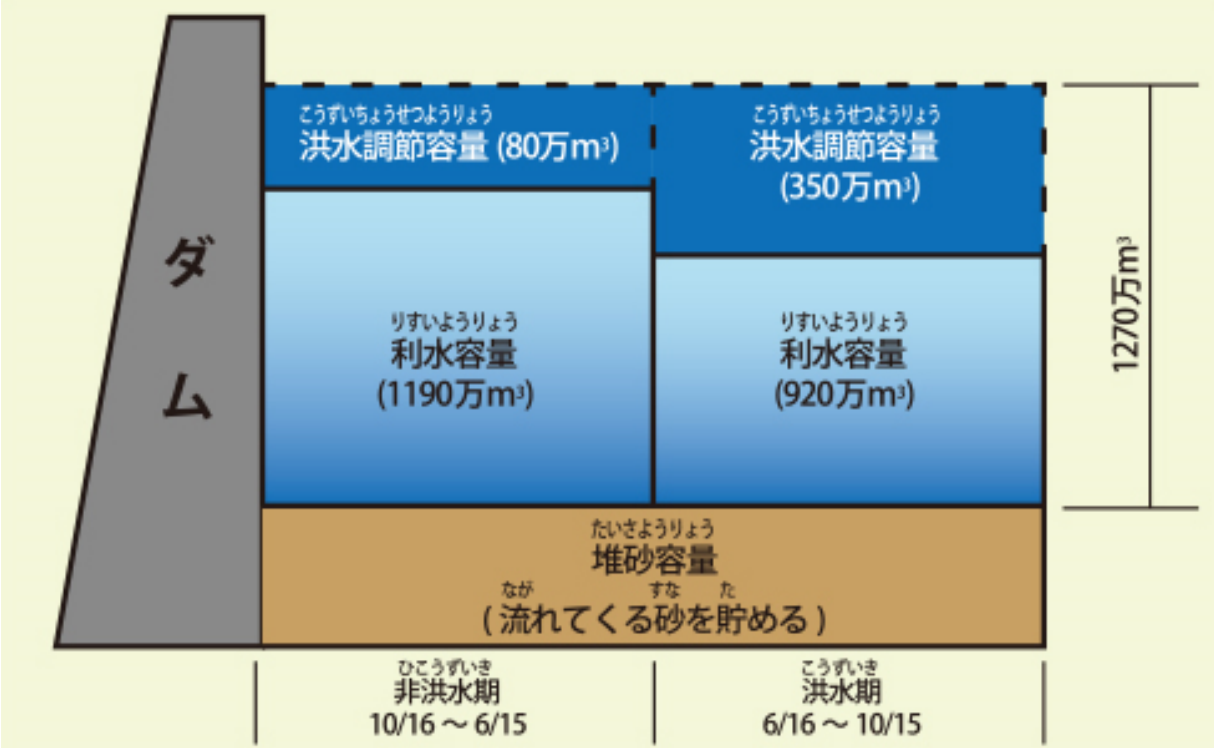


集水面積168k㎡

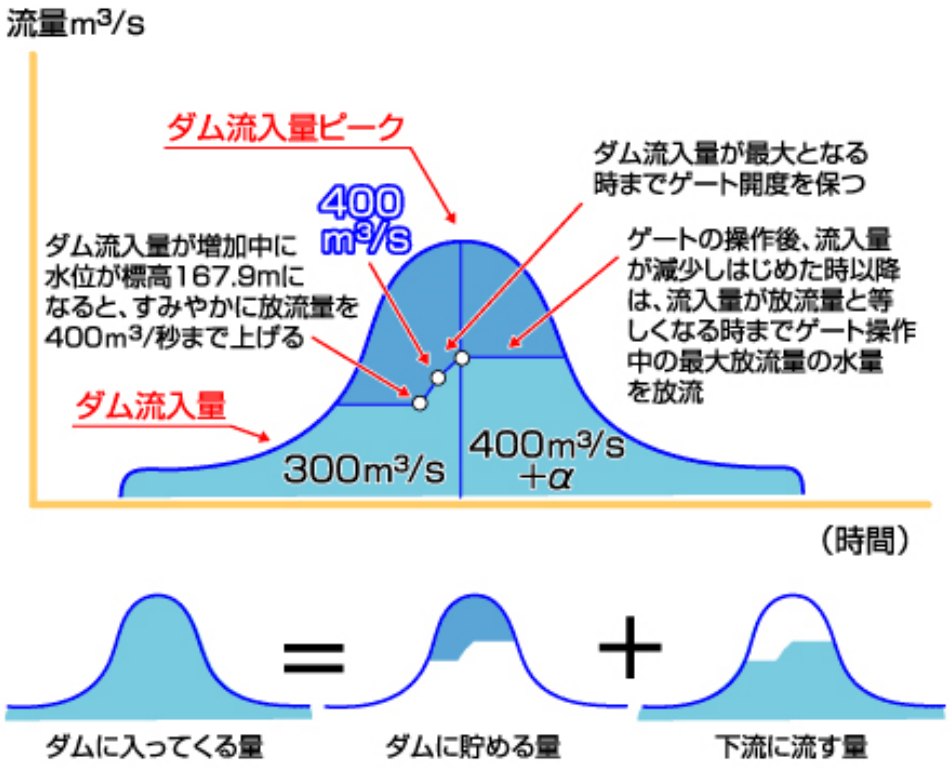


①クレストゲート
　大きい洪水時の放流用ゲート
②コンジットゲート
　洪水初期、小さい洪水時の放流用ゲート
③選択取水設備
④ジェットフローゲート　通常時の放流用ゲート
⑤水力発電設備

野村ダムの概要

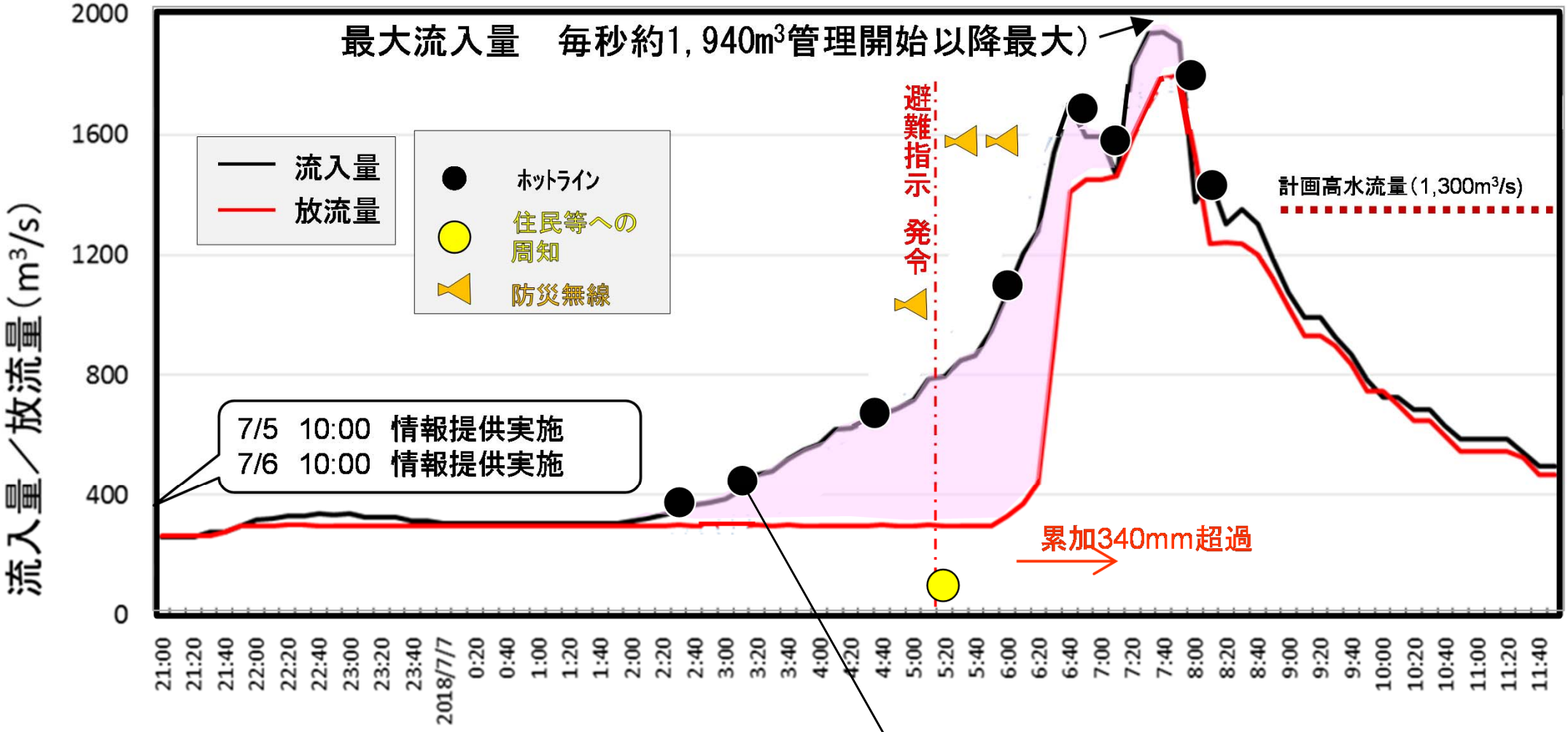


貯水池容量配分図



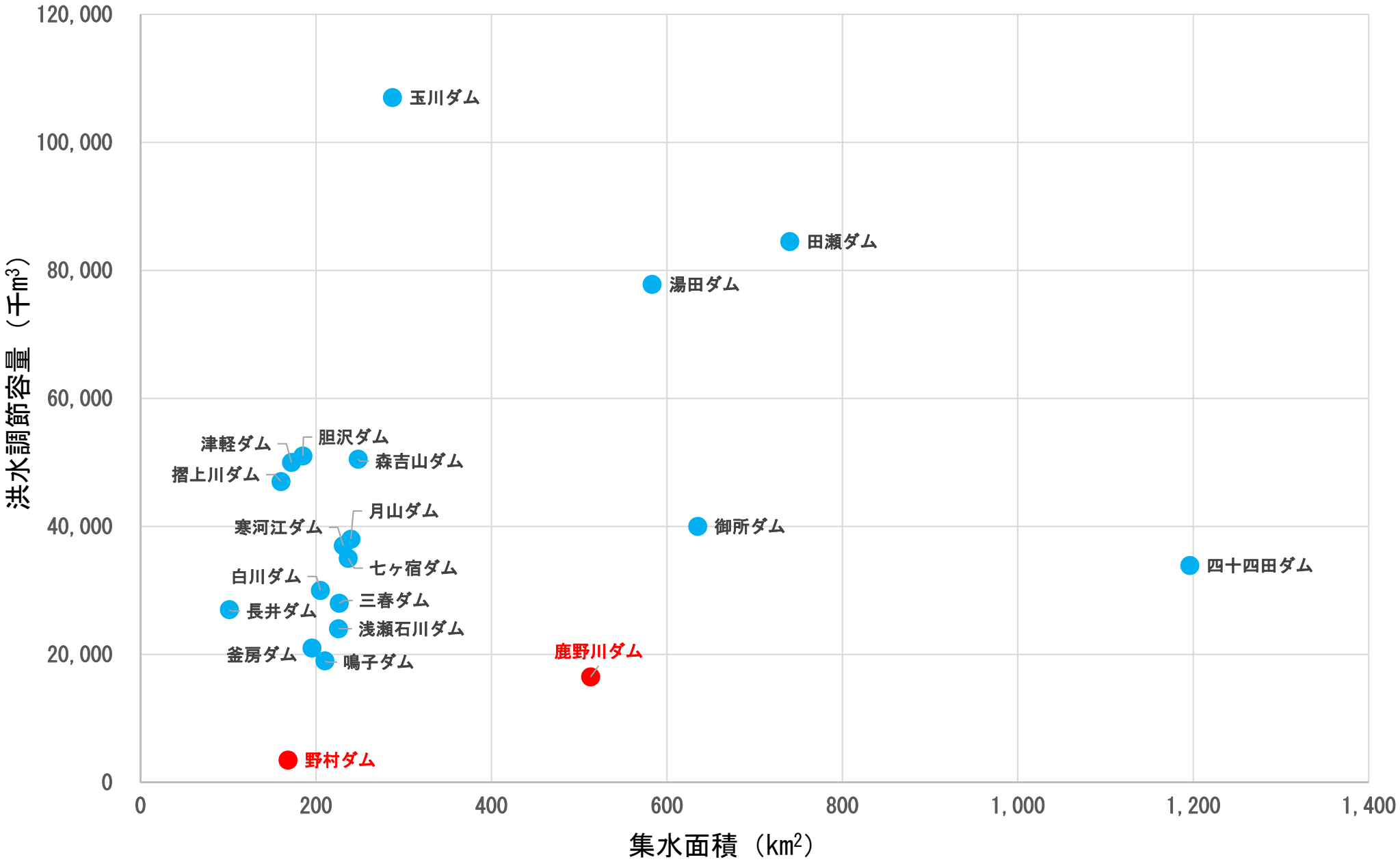
洪水調節模式図

野村ダムにおける異常洪水時防災操作



「6時20分には異常洪水時防災操作を開始する見込み」

東北の直轄ダムと野村ダム・鹿野川ダムとの比較（集水面積・洪水調節容量）



（参考）国土交通省ハザードマップポータルサイト

〇災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開。
〇全国の防災情報を1つの地図上で重ねて閲覧可能に。

大雨が降ったとき
・どこが浸水するおそれがあるか？
・どこで土砂災害の危険があるのか？
・どこの道路が通行止めになりやすいのか?

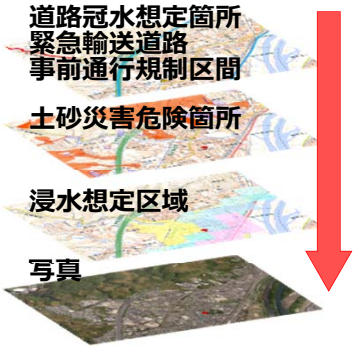


地震のとき
・どこが揺れやすいのか？
・活断層はどこにあるのか？
・大規模な盛土造成地はどこなのか？

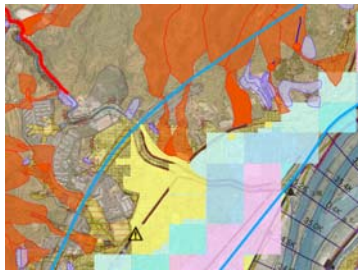


重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、全国どこでも1つの地図上で重ねて閲覧できます。



1つの地図に重ね合わせて閲覧



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

このような防災に関する様々な情報が分かるので、避難計画・防災対策に役立ちます。



避難ルートの検討



浸水対策の検討



耐震対策の検討



液状化対策の検討

国土交通省ハザードマップポータルサイト
http://disaportal.gsi.go.jp/

ハザードマップ　検索

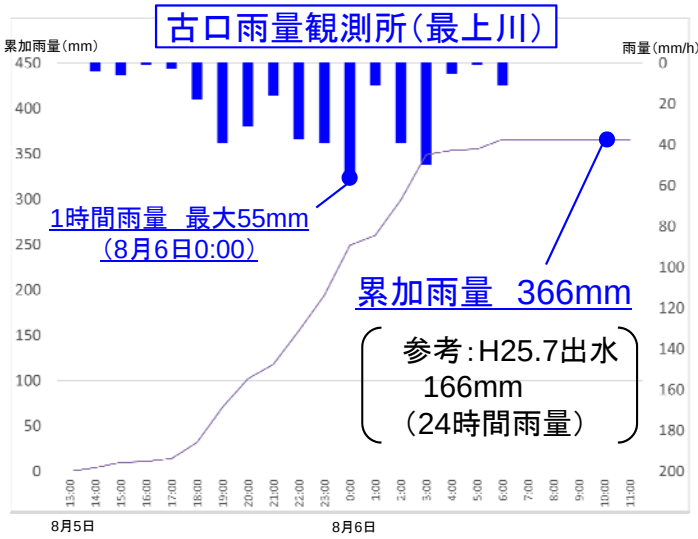
平成３０年８月６日出水（前線）の概要（最上川）

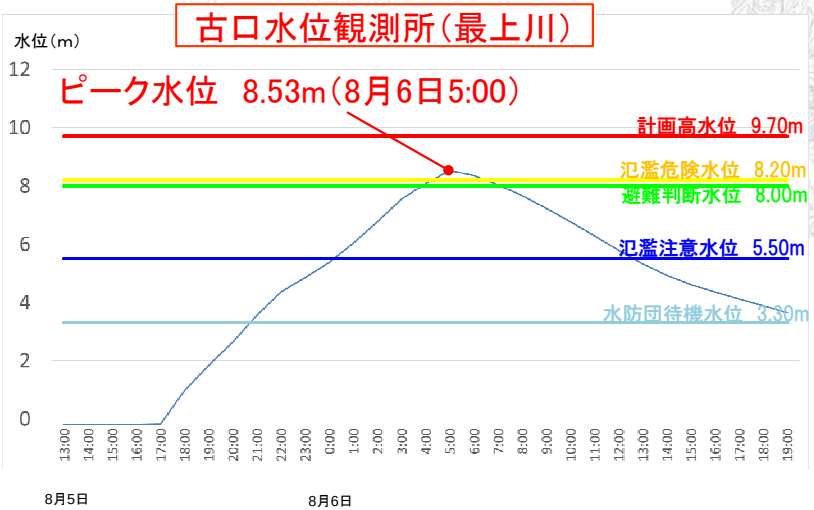
平成30年8月6日出水（前線）の概要

■山形県内の古口雨量観測所（国交省）では24時間雨量366mm（既往最大198mm（H2.6））、平根雨量観測所（国交省）では同333mm（既往最大185mm（H25.7））を観測し、既往最大の雨量を記録。

■ 最上川の古口水位観測所、下瀬水位観測所で氾濫危険水位を超え、支川鮭川、金山川では既往最大の水位を記録。

■外水及び内水によって、200戸を超える浸水被害が発生。











浸水被害（8月8日18時点）

■浸水面積　※速報値

新庄市　0.407km²（外水0.407km²、内水0.000km²）

戸沢村　0.808km²（外水0.063km²、内水0.745km²）

合計　1.215km²

■浸水家屋数（住家）※速報値

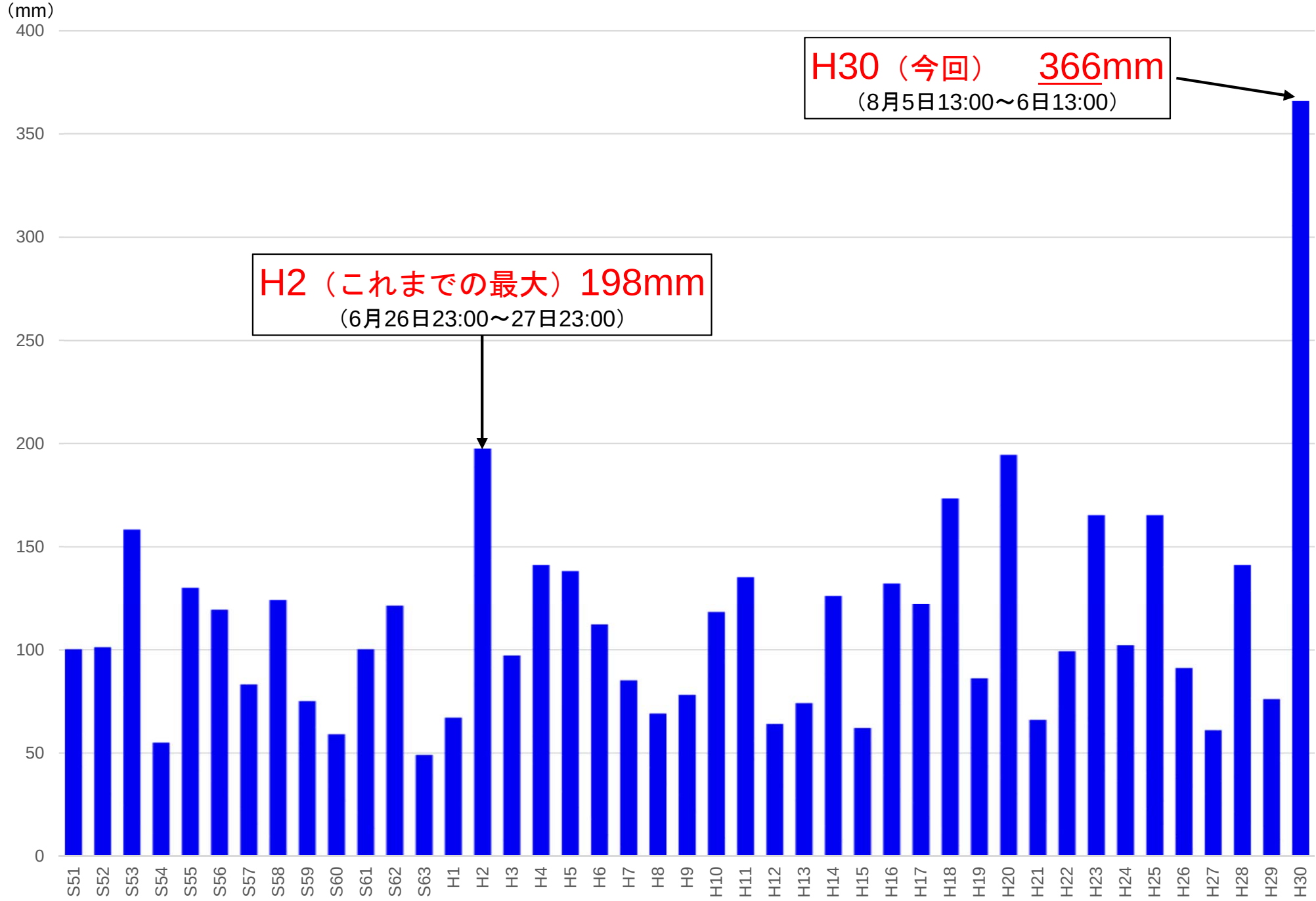
新庄市　10戸

戸沢村　215戸

合計　225戸

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

古口（ふるくち）雨量観測所　24時間雨量【S51～H30】（速報値）

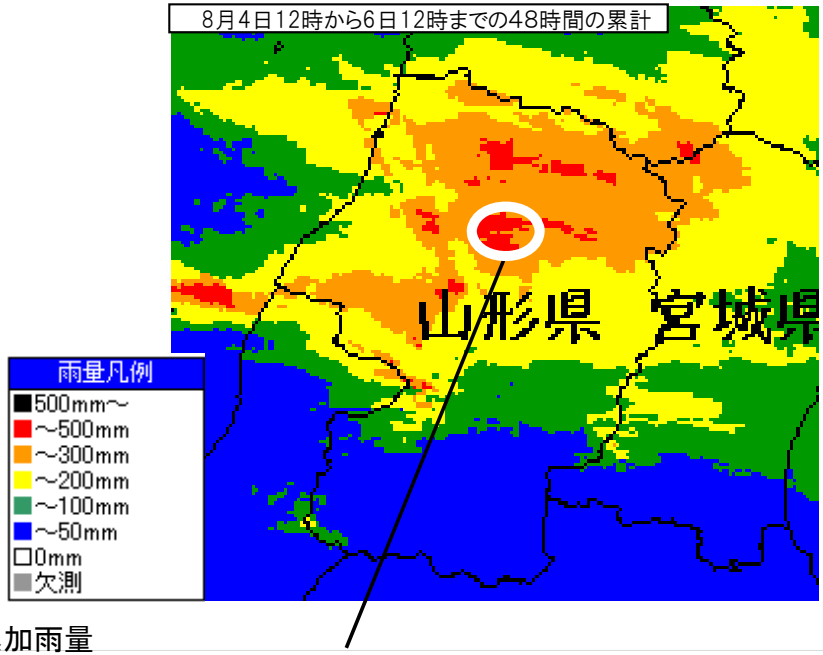


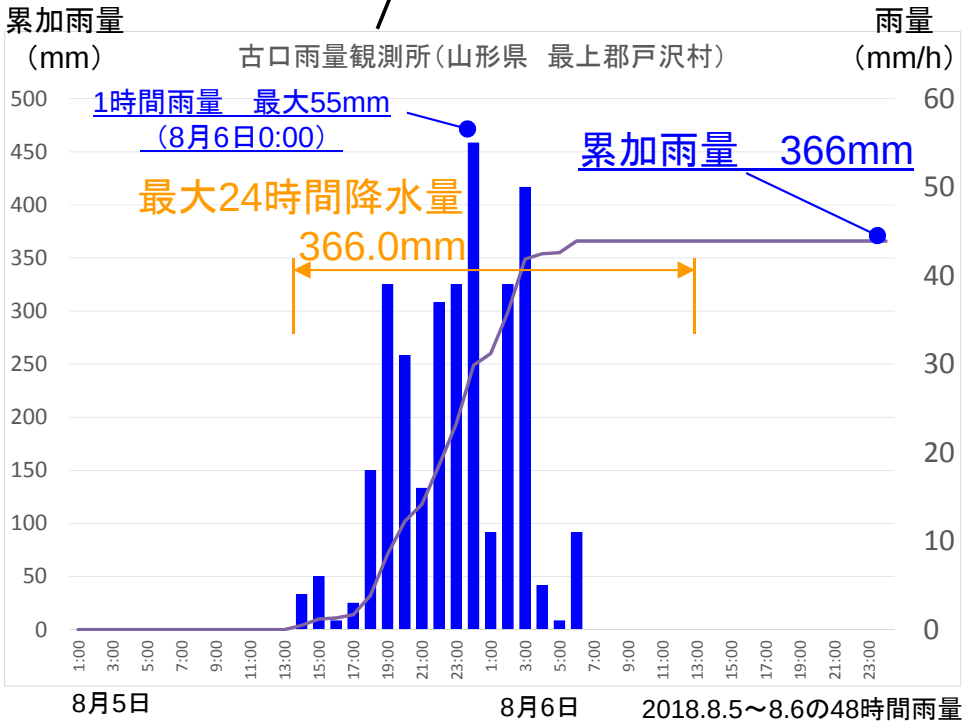
※グラフデータは水文水質データより

平成30年8月出水における降雨量（速報値）

H30.8出水（山形県　古口観測所）

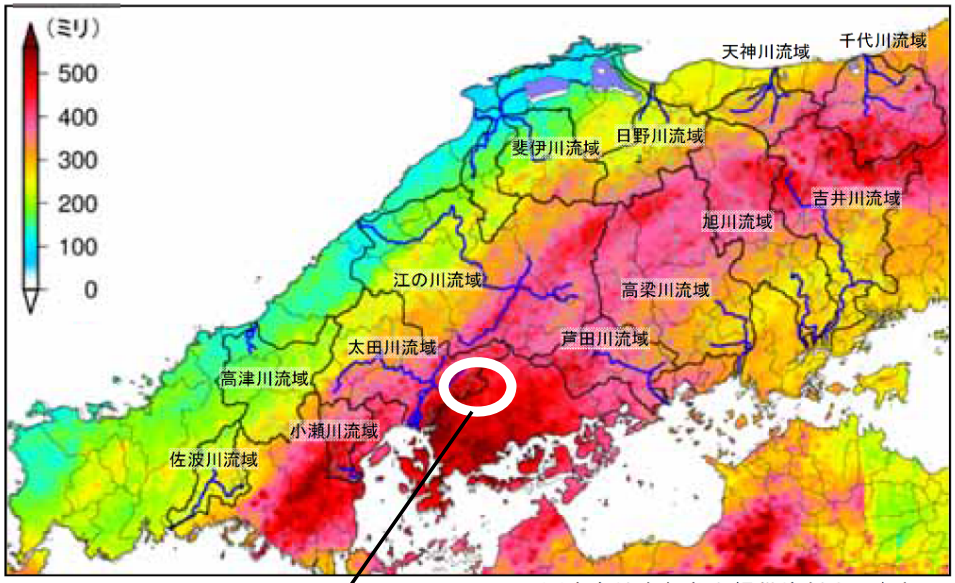
累加雨量レーダ





H30.7豪雨（広島県　志和観測所）

雨量分布図（解析雨量）（7/5 0:00～7/9 9:00）



※広島地方気象台提供資料を一部加工

